

1年間の主な行事日程

2021年	4月	4日	第57回入学式
		9日	前期授業開始
		14日	授業公開講座「簿記原理I・II」(全30回)
5月	15日	オープンキャンパス(第1回)	
	29日	前期公開講座「障がい者スポーツのレンズで見たユニバーサル社会とは」	
6月	19日	前期公開講座「iPadやWebツールを活用した英語学習法」	
	30日	前期授業終了	
7月	31日	オープンキャンパス(第2回)	
	8月	2日	前期試験・補講開始(～8/6)
8月	10日	夏季休業開始(～9/20)	
	9月	19日	学園創立記念日
9月	20日	夏季休業終了	
	21日	後期授業開始	
	25日	オープンキャンパス(第3回)	
	10月	9日	後期公開講座「学校を核とした地域づくりはどうあるべきか」
10月	17日	大学祭	
	11月	13日	後期公開講座「英語を言語学の観点から考える」
11月	20日	学校推薦型選抜	
	12月	8日	本学主催業界研究会(函館)(～12/10)
12月	22日	冬季休業開始(～1/11)	
	2022年	1月	11日
12日			後期授業再開
28日			後期授業終了
31日			卒業論文提出締切、後期試験・補講開始(～2/4)
2月	5日	一般選抜<A日程>、社会人選抜・シニア選抜、編入学選抜	
	8日	春休み集中就活対策講座・模擬面接研修会(～2/10)	
	28日	春季休業開始(～3/31)	
3月	5日	一般選抜<B日程>	
	16日	第54回卒業式	
	26日	オープンキャンパス(第4回)	
	28日	新2・3・4年次オリエンテーション	
	31日	春季休業終了	



函館大学 図書館

〒042-0955 函館市高丘町51番1号 TEL(0138)57-1181
URL <https://webopac.hakodate-u.ac.jp>



ぽるとさびえバックナンバー 函館大学 学術情報リポジトリ・函館大学広報誌
URL <https://hakodate-u.repo.nii.ac.jp>

※マスクを着用していない写真につきましては、密にならないよう撮影を行いました。

ぽるとさびえ

2021 August Vol.34

函館大学広報誌 Vol.34 発行／函館大学図書館



PORT SAPIE

ぽるとさびえ

HAKODATE UNIVERSITY
CAMPUS PRESS

特集

「函館大学の資格取得支援」

就職部 高い就職率を実現する函館大学のキャリア支援

教育の特徴・オープンキャンパス

キャンパスレポート・クラブ活動など



 函館大学

困難を乗り越え変化に 適応し、 今後も続く挑戦

学 長 野 又 淳 司



コロナ禍は世界全体としては大きな危機ですが、個人としては、新しい時代に適応し、自分を変えていく契機とすることもできます。

海外渡航など活動が制限されている間は、しっかりと自分の目標を見つめなおし、力をためる時期です。本学ではTOEICや日商簿記の検定への取り組みを充実させています。ある学生は「学長のTOEICスコアを超えます!」と宣言して、見事に超えてくれました。また、コツコツと努力して、4年生で英検準一級に合格した学生もいました。結果はいずれついてくるものですが、それぞれの学生が目標をもって努力していることに価値があるのです。

日商簿記検定の合格者も昨年は増え、試験前の講習にも多くの学生が参加してくれました。日商簿記の検定は、簿記の実践力に直結するもので、私は学生に「君たちがYouTuberを副業として収入を得たとき、青色申告して税金が節約できるスキル」と説明しています。簿記のイメージも時代とともに変わっています。

学生の授業外学習時間も着実に伸びており、勉強は大変だけど実力をつけることができる大学として、企業からの評価も上がっていると感じています。

昨年の流行語ともいえる「リモート」への取り組みにも、学生はしっかりと適応してくれました。オンライン授業によって成績の低下が懸念されていましたが、令和2年度の成績評価は例年よりも良くなっており、授業評価アンケートの結果もまずまず良好でした。学生

の研究発表会「アカデミック・リンク」はオンライン開催となりましたが、例年以上の学生が参加してくれました。国際交流については、オンラインで姉妹校との交流を行いました。就職活動はオンライン面接へと移行しましたが無事に乗り越え、実就職率97.2%という非常に高い数字を残してくれました。

私たち教職員も学会・会議でもリモートを多用した結果、効率的な仕事ができるようになりました。コロナ終息後もリモートの活用は継続したいと考えています。学校教育において、行事や課外活動には重要な役割があります。入学式、卒業式などの式典では動画配信を行うことで、遠方のご家族にも見ていただくことができました。大学祭についても屋外限定・一般来場者制限で開催しました。主催した学生は大きな自信が得られたのではないかと思いますし、学内の感染対策意識も高まったと思います。

クラブ活動については、知事からの要請がない限りは大きな制限をかけず、活動を許可しています。結果として、1月に運動部のクラスターが発生しましたが、地域の皆様のご理解を賜り、活動を再開しています。学生はこの件からも多くのことを学び、人間的にも成長したと思います。

新しい時代に適応していく過程には様々な困難がありますし、自分を変えていくには、深い内省が求められます。コロナ禍もまた学びと成長に必要なものだと前向きにとらえ、函館大学はこれからも挑戦を続けてまいります。

CONTENTS

●学長メッセージ(学長 野又 淳司).....	1	●CAMPUS REPORT	
●特集「函館大学の資格取得支援」.....	3	●専門ゼミナール紹介.....	19
●教育の特徴、オープンキャンパス.....	9	●新任教員紹介.....	20
●就職部.....	11	●PBL【課題解決型学習】&令和3年度の公開講座.....	21
●がんばる社会人一年生・インターンシップ体験.....	12	●令和2年度 学校法人野又学園 決算書.....	21
●出身校紹介 北から南から.....	13	●授業アラカルト	
●KANDAI ing CLUB TOPICS		●「マクロ経済学」 安木 新一郎 准教授.....	22
●硬式野球部.....	16		
●軟式野球部.....	17		
●書道同好会.....	18		

函館大学の 資格取得支援

商学部の函館大学では、教育方針としてビジネススキルの習得に力を入れています。特定の職種に必要なスキルや現代社会で求められるスキルを学生に身に付けてもらうため、さまざまな資格取得への手厚い支援を行っています。その支援内容を紹介していきます。

〔受験料補助や対策講座などの大学支援〕

求められるビジネススキルの 習得を支援

現在のビジネス界では、専門知識だけでなく、多種多様なビジネススキルが求められています。社会で活躍する人材となるためには、各種スキルの習得が必須と言ってもよいでしょう。その社会のニーズに応じていくため、本学では学生たちの資格取得に対して手厚い支援を行っています。中でも柱となるのがTOEIC、日商簿記検定、教員免許です。授業はもちろん、対策講座や資格についての情報提供なども充実させています。

TOEIC IP受験制度を確立

まず英語に関して、本学では2017年度にTOEIC IP受験制度をスタートさせました。2017年度から、2年生全員を対象にTOEIC L&R IPの受験を実施し、2019年度からは、TOEIC Bridge IPの受験を、入学時に1回と、入学後の1年生と2年生の全員に1回ずつで計3回実施しています。これらの受験料は大学が全額補助しています。そして、TOEIC Bridgeの一定のスコア取得は、「英語実践入門Ⅰ・Ⅱ」という科目の単位認定要件になっています。3・4年生に関しても、TOEICでより高いスコアを目指すための科目を設置しました。

また、2019年度からは英語が得意な職員をTOEICサポーターに任じ、主に英語を不得意としている学生に対して英語学習のサポートなどを行っているほか、TOEIC指導に有益であるという観点から、教職員にTOEICテスト(L&R、S&W)の受講を促しています。一方、TOEICで一定のスコアを超えた2年生

には、今年度の後期より大学が費用を補助し、オンライン英会話の提供を行う予定です。TOEIC L&R IPに向けては対策講座も行うなど、英語を専門とする先生方が連携して学生をサポートしています。

1年生全員が日商簿記検定 3級を受験

日商簿記検定に関しては、2018年度より取得済みの学生を除く1年生全員に3級を受験させています。この3級の受験料も大学が全額補助。授業科目では「簿記原理Ⅰ・Ⅱ」を必修科目としており、昨年度からはこの科目を2つのクラスに分けました。

教務部長
寺田 隆至 教授



夢ナビTALK「産業」概念で理解する経済

その1つのクラスでは試験対策を前面に掲げ、検定合格を第一の目標とした授業を行っています。また、試験前をはじめ、必要とする学生がいる場合にその都度、対策講座を開催。ビジネス界では他のスキルが同程度だった場合、簿記の資格を持っていると評価されます。昨年は開設したクラスから20人以上が3級合格を果たしました。今後は、より上位の級に挑戦する学生が増えていくことを期待しています。

教員免許取得と 資格取得支援

さらに本学では、教員免許取得に向けた学びも充実しています。授業科目としてサポートしており、高等学校教諭一種免許(商業、英語、公民)、中学校教諭一種免許(英語、社会)取得を目指して学生たちは頑張っています。

そして、教員免許取得のための教育実習は、希望免許別に特定の資格を取得していることを条件としています。商業は日商簿記など、英語はTOEICもしくは英検、公民はニュース時事能力検定試験です。本学が、ビジネススキルに関する資格取得を手厚く支援するのは、学生の教員免許取得を支援するためでもあります。



資格取得に向けた学習は 学ぶ意欲につながる

資格取得において、本学が学生への支援を手厚く行っているのは、先に述べた通り、第一にさまざまなビジネススキルを身に付けてもらうためです。資格は自分の武器になるだけでなく、努力の結果が成果となって表れるものであることから、学ぶ意欲へとつながっていきます。そして、資格の勉強を通じて、勉強することにポジティブになってほしいと願っています。本学ではこれからもさまざまなバックアップをしていきますので、学生の皆さんはどんどんチャレンジしてください。

資格	本学の取り組み
TOEIC	<ul style="list-style-type: none"> ○1・2年生全員がTOEIC Bridge IPを、2年生全員がTOEIC L&R IPを大学の費用負担で受験。 ○TOEIC Bridge IPの一定のスコアを単位認定要件とする科目「英語実践入門Ⅰ・Ⅱ」を設置。 ○TOEIC L&R IPのための対策講座を実施。
日商簿記	<ul style="list-style-type: none"> ○1年生全員が日商簿記3級を大学の費用負担で受験。 ○検定試験合格を目標としたクラスを科目「簿記原理Ⅰ・Ⅱ」に設置。 ○日商簿記検定対策講座を実施。
教員免許	<ul style="list-style-type: none"> ○高等学校教諭一種免許(商業、英語、公民)、中学校教諭一種免許(英語、社会)の課程を設置。 ○教育実習は、希望免許別に特定の資格を取得していることを条件に実施。 ○実務経験のある教職担当教員が教員としての資質向上から、免許取得、教員採用試験まで個別指導。

特集

資格取得に挑む学生たちを指導 ～英語担当教員に聞く～

函館大学の
資格取得支援

「モチベーションが重要となる資格勉強」

正課授業での 資格試験対策

本学では、入学時から卒業までに全学生がTOEIC BridgeやTOEICのIP試験を複数回受ける機会が設けられています。加えて、「英語実践入門」など、資格試験対策を中心とした授業も必修科目として用意されているため、本学の英語カリキュラムを通して、これらの試験で高得点を取るための土台をしっかりと固めることが可能となります。指導する立場としても、試験によって学生の習熟度を定期的に見ることが出来るため、個別サポートも比較的容易となり、より適切な学習アドバイスが可能となります。

阿武 尚人 専任講師



学習意欲を高める 資格試験

資格試験の大きなメリットは学習モチベーションの維持に役立つということです。多様な側面を持つ言語という存在を習得しようとする過程において、時に「どこから手をつけるべきなのか」、また「どこまで学べばいいのか」と途方に暮れてしまうこと

もあります。そんな時に、資格試験を受けることで自分が今得意とする部分や苦手とする部分がある程度知ることが可能となり、苦手なところを少しずつ解消していくことで、その成果を点数や級の向上という形で体感することができます。このよう

に、広範な学習対象を資格試験という枠組みの中で段階的に達成していくことは、最初の一步を踏み出す動機付けになるばかりでなく、学習意欲を継続することにもつながります。目標の点数や級を達成していく喜びを糧に、更なる高みに挑戦し続ければ、気がつくや当初は思いもしなかった頂に到達しているものです。英語が得意な人だけでなく、英語が苦手だと思っている人にもぜひ目標の点数や級を定めて、資格試験に挑戦してもらいたいと思います。



ACTIVITIES

TOEIC対策も行う 国際英語活動同好会

阿武先生が顧問を務め、最上さん、石川さんの両名も所属している国際英語活動同好会では、学生が主体となってさまざまな英語に関わる活動に取り組んでいます。TOEICや英検などの各種資格試験対策だけでなく、翻訳コンテストへの応募や北海道国際交流センターの留学生への通訳など、英語を使って意欲的に活動しています。

「資格取得に向けて努力する学生たち」

学長のスコア超えの目標が モチベーションに



最上 芽那英 さん
商学部商学科英語国際コース3年
(青森県立鶴田高等学校出身)

本学の阿武先生が大学生時代にTOEIC900点をとったお話を聞いたことが印象に残り、さらに学長との面談で「若い子のほうが吸収力があり、習得も早いのに…」との言葉の中に学生へのエールを感じ、「学長のTOEIC L&R IPの最高スコア920点を超えたい」と思って取り組みました。そして930点を獲得。素直にうれしく、周りの人に「学長に勝ちたい」と話していたこともあり、教職員の方々からも声をかけていただいたほか、教授会などでも話題にしてくれたそうです。また、元々はリスニングを苦手としていた私でしたが、阿武先生のリスニングの授業で音現象について学んだことにより、リスニング力を伸ばすことができました。阿武先生はとてもコミュニケーション力が高いうえに、楽しい雰囲気での授業が進んでいくため、集中力も持続。TOEIC IPのリスニングでの満点は、元々持っていた自分の力だけでは達成不可能だったと思います。資格勉強に取り組む自分の姿には、理想というものがありません。掲げた目標に対して、どれだけ努力できるかによって過程も結果も変わります。私は今年の夏からハワイ留学を予定。この長期留学をモチベーションにして、留学の必要条件となる英検準1級には2年生の秋に合格しました。また、卒業までには1級に合格したいと思っています。将来は海外展開している企業で働きたいと思っているので、TOEICで高い点数をとることが最終地点ではなく、TOEICを通して身に付けた英語力を留学中および留学後にも活かして、世界で活躍できる社会人になりたいです。

英語力アップによって 専門分野の幅が広がる



石川 圭 さん
商学部商学科企業経営コース3年
(北海道留萌高等学校出身)

私の夢は税理士または会計士になることです。函館大学では、その目標に向かって学業に励んでおり、その中で、アメリカの会計を学んでいた時に、より高いレベルの英語力が求められることに直面しました。「英語で会計を勉強したい」という気持ちが芽生え、専門分野をより深く知るためにも、英語力向上を目指すという新たな目標がモチベーションにつながり、TOEICに取り組みました。TOEICは点数がはっきりと出るため、努力の度合いや現時点でのレベルを把握できるのが良いところだと思います。私も最上さんも阿武先生が顧問を務める「国際英語活動同好会」に所属しています。入部の動機は、周りに「勉強をしたい」という同じ志を持つ人がいたらいいなと思ったからです。同好会での活動からは、大きな刺激をもらえました。会計士の分野には、会計を中心とした幅広いビジネス知識と高い英語力が求められる米国公認会計士という資格があります。英語を勉強していくうちに、その資格に興味を抱くようになり、それまで考えもしていなかった選択肢に目がいくようになったのです。また、就職をしてキャリアアップをする時には、海外企業や外資系企業を顧問先にしてコンサルティングをしてみたいという夢も持っていました。現代社会ではさまざまな業界、あらゆる場面において英語力が求められていると思います。将来のことを考えた時、TOEICへの取り組みをはじめ、英語力のキャリアアップはプラスになるはず。それが私の学びやチャレンジする意欲をかき立ててくれます。

TOEIC対策への取り組み

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期
授業科目	英語L入門	英語W入門 英語実践入門I	英語S入門 英語実践入門II	英語R入門	英語実践演習I 英語実践演習II	英語実践演習III 英語実践演習IV		
TOEIC試験	4月 Bridge IP 1年生全員 (受験料全額補助)	1月 Bridge IP 1年生全員 (受験料全額補助)	7月 Bridge IP 2年生全員 (受験料全額補助)	12月 L&R IP 2年生全員 (受験料全額補助)		12月 L&R IP (一般受験)		12月 L&R IP (一般受験)
	◆ 学長カウンセリング TOEICサポーター			(3ヶ月間費用全額補助)				TOEIC試験対策講座 TOEIC基礎講座 オンライン英会話

※TOEIC Bridge IPは学校が費用負担(単位認定要件になっているため)
※TOEIC L&R IPは2年次を学校負担

〔商学部にとって簿記は大切な学び〕

簿記の知識がない学生でも 理解できる授業を

「簿記とは何か？」と聞かれたら皆さんは答えられますか？簿記が何なのかを知らずに学ぶ高校生や大学生も少なくないと思います。実際、簿記の意味がわからなくても、検定に合格することはできます。しかし、自身が学んでいるもの、あるいはこれから学ぼうとしているものが何なのか、どんな役に立つのかを理解するに越したことはありません。

そもそも「簿記」とは、「会計」の分野において「経理」が「財務諸表」を作成する技術のことを言います。会社の内外にいる多数の関係者に、企業が日々行う取引の詳細を開示する目的で作られますが、一般にはお金の管理を仕事としている「経理」の業務とされます。一方、「経理」を希望しないから簿記は必要ない！という考え方はNGです。なぜなら、ビジネスでは様々な取引でお金のやりとりをし、最終的に利益を生み出すことによって成立しているため、その仕組みを理解できる能力が求められるからです。

一定のルールに基づいて記入された帳簿に基づき、「財務諸表」と言われる書類が作成され、これが会社の財政状態や経営成績を表すため、会社の通信簿とも言えます。いわゆる簿記の5大要素と言われる「資産・負債・資本・収益・費用」が一目瞭然に把握できるので、企業活動を円滑に進めるための基準となり、結果として会社の利益の確保に繋げることができます。

具体的にビジネスを 捉えるための簿記

そして、数字に秘められた法則を読み解く力が身につけば、より深く、具体的にビジネスを捉えることができるようになります。例えば、就職活動をして内定をもらっても、入社前に倒産するような会社を選んだのでは、せっかくの努力が無駄になります。つまり、企業研究をする際にも、簿記の知識は必要不可欠です。

日商簿記検定対策講座

2月の検定試験前のほか、6月、11月の検定試験前に日商簿記検定対策講座を開催。さらに、必要としている学生がいれば、年間を通して学生の状況に合わせてというスタイルで対応しています。対策講座では過去問を解き、解説を挟みながら、検定の傾向と対策を重点的に行っています。



梅崎 巧 教育助手



また、入社後に営業担当になった場合、簿記の知識があれば、売上だけではなくコスト面も含めた営業効率を検討することで、論理的かつ説得力のある営業提案ができるようになります。さらに、出張を命じられた場合の費用の精算方法は会社によって異なりますが、簿記のスキルがあれば、仮払いを求めることで、給料を出張費用として立て替えることも避けることができます。そして、数年後に総務部長に昇進し、社内を管理する立場になったら、資産管理や物品管理も重要な業務の一つとなります。すると、日常の消耗品はもちろんのこと、土地や建物、車両運搬具や備品の取得・更新・修繕・廃棄など、多岐にわたる複雑な処理が求められる、これもまた簿記の知識なしでは、手も足も出ません。自ら経営する立場になっても、自社の経営状態もさることながら、投資先を選定したり、企業買収をしたりと、難しい判断を迫られますが、その時に道標となるのも簿記の知識です。数字の羅列でしかない相手企業の資料を正しく読み解けば、ビジネスの幅も格段に広がります。

要するに、社会人として絶対に備えておきたい武器であり、ビジネスの常識とも言えるのが簿記です。みなさんをこのような簿記の世界に誘うために開講しているのが、簿記講習という授業です。

〔資格取得に向けて努力する学生たち〕

実用的かつ履歴書にも 有効な簿記資格

小笠原 優亜 さん

商学部商学科企業経営コース4年
(岩手県立盛岡商業高等学校出身)



私は教員免許取得の目標に向け、学業に励んでいます。高等学校教諭(商業)となるために簿記資格は必須。商業高校出身だったので、3級は高校3年生の時に取得し、大学では2級合格に向けた勉強をしてきました。高いモチベーションを維持できたのは「必ず教員になる」という思い。また、教える立場になることを考え、分からないことがない状態にして受かりたかったため、簿記の構造に重きを置いて取り組みました。これまでさまざまな検定に挑戦してきましたが、簿記2級はもっとも苦戦した資格です。試験内容は知識だけでなく、応用力が求められ、3回目の挑戦でようやく合格。3級の時はひたすら過去問を解いて体に覚えさせていきましたが、2級では不合格の経験も活かしながら、実際の企業の動きなども見て、イメージができるトレーニングも行いました。ですから、合格した時はとても嬉しかったです。簿記資格は実用的であり、履歴書でアピールできることは大きく、1年生全員が3級にチャレンジできるのは、他の大学ではなかなかないと思います。

簿記3級は2級を 取得するためのステップ

北條 真衣 さん

商学部商学科市場創造コース2年
(北海道函館商業高等学校出身)



今年2月、最初に受けた試験で3級に合格しました。私は商業高校出身ですが、高校では2年生で情報処理のコースを選択したため、簿記を学んだのは1年生の1年間のみ。簿記の学びから離れていた期間があったため、まずは基礎を身に付けようとして学習に取り組みました。元々、大学で資格取得することを見据えていたことに加え、3級は2級へのステップという気持ちが強かったです。梅崎先生は、難しいことでも分かりやすく教えてくれます。それは、検定や資格の大切さを尊重しているからだと思います。授業時間はもちろん、家で復習を重ねてベースを作り、さらに動画サイトで講師の授業を見たりして対策を強化。努力を続けられたのは、「絶対に合格する」という強い気持ちがあったからでした。2級はこれまで挫折した人を何人も目の当たりにしてきたので不安はありますが、1回目が駄目ならば2回目と、少し心の保険をかけています(笑)。それでも、将来は公務員になりたいので、就活を始める前までに取得したいです。

対策講座のおかげで 試験当日をイメージできた

大久保 ヒカル さん

商学部商学科市場創造コース2年
(北海道科学大学高等学校出身)



高校は普通科だったため、簿記の知識を何も持たないまま大学に入学。資格取得のために授業を受け、勉強をしていく過程で「簿記って面白い」と思うように。梅崎先生の授業は、簿記の知識がない学生でもスッと入っていけるような、丁寧な指導でした。私は負けず嫌いな性格です。そのため、勉強せずに不合格となるのが嫌だったため、他の授業やバイトなどもある中で、「この時間は簿記の勉強」と決めて努力しました。結果、それが実って北條さん同様、今年2月の試験で3級に合格。試験前の冬休みに受講した日商簿記検定対策講座では、時間を計って問題を解くなど、試験当日をイメージできたおかげで、落ち着いて試験に臨むことができました。資格取得に向けて重ねた努力は、その後の勉強への取り組み方にも活かしています。来年は2級にチャレンジする予定です。2級は商業簿記のほかにも工業簿記の問題もあり、試験内容が異なるので対策は簡単ではありませんが、卒業後は簿記資格が武器となる職業に就けたいと思っています。

日商簿記検定への取り組み

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期
授業科目	簿記原理Ⅰ	簿記原理Ⅱ	高等簿記Ⅰ 原価計算論Ⅰ	高等簿記Ⅱ 原価計算論Ⅱ				
日商簿記検定試験		2月 ◆ 3級 1年生全員 (受験料全額補助)		2月 ◆ 2級 (一般受験)		2月 ◆ 2級 (一般受験)		2月 ◆ 2級 (一般受験)

※3級検定試験は1年次を学校負担

※対策講座は2月の検定試験前のほか、6月、11月の検定試験前や学生の状況に合わせて開催

質の高い教育と 就職に強い大学



第14回「日銀グランプリ」プレゼン



昨年は、コロナウイルスの影響で、多くの大学でオンライン授業を余儀なくされました。本学も緊急事態宣言により1カ月ほどオンライン授業を実施いたしましたが、その後は通常の対面授業を行い、例年どおりの教育を実施することができました。本学の最大の特長は、独自の教育システムと、学生による調査・研究やキャリアデザインの実現をさまざまな形でサポートする充実した支援体制にあります。本学は、早くからアクティブラーニングという能動的な学修を促す手法を採用し、教育界・産業界から注目されてまいりました(大手進学予備校河合塾による調査。『日本経済新聞』2011/2/21)。この手法による「商学実習I・II」(1・2年次)などでは、学生による地域研究をはじめ、企業とのコラボによる商品や観光プランの開発などが、新聞やテレビニュースなどで数多く取り上げられております。このほか、本学のビジネス企画研究室をはじめとした学生の研究グループが、青函を題材とした教育旅行プランで、海洋観光大学東日本教育旅行研究大会(同実行委員会、日本財団主催。2016/9/10)において最優秀賞を獲得したのをはじめ、はこだて学生政策アイデア・コンテスト(はこだて地方創生研究会主催。2017/11/23)で最優秀賞、日銀グランプリ(日本銀行主催。2018/11/23)で優秀賞を受賞するなど、本学のアクティブラーニングの質の高さを示すものとなっています。また、本学はさまざまな形で海外留学・海外研修の機会を拡充してまいりました。ニューカッスル大学(オーストラリア)、ハワイ・パシフィック大学のほか、南開大学浜海学院(中国)、長栄大学(台湾)との研究・教育交流を実施し、海外でのマーケティング研修、短期語学研修なども実施してまいりました。残念ながら、現在、コロナウイルスにより、こうした交流は中断しておりますが、状況が改善し次第、こうした取り組みも積極的に支援していく予定です。本学は、従来から就職に強い大学という評価をいただいておりますが、『週刊ダイヤモンド』(2011/12/1)の特集号「就職に強い大学ランキング」で、道内限定で第3位、道内私大ではトップ(全国総合98位)となり、本学の就職実績の高さはお墨付きをいただくことになりました。本学の就職の強さは、就職者+進学者/卒業者数、という実就職率(97.2%)の高さに表れていると思っております。このように、本学のすぐれた教育システムと高い就職実績は、マスコミからも注目され、高い評価を得るにいたっております。

夢ナビTALK「企業経営と会計情報システム」



入試部長
若松 裕之 教授



OPEN CAMPUS 2021

オープンキャンパス

学生が案内する
オープンキャンパス

今年度は、本学主催のオープンキャンパスを4回開催します。オープンキャンパスでは、本学の教育内容や入学者選抜、就職支援、学費・奨学金の説明、ミニ講義、キャンパス見学、無料ランチ体験があり、本学の情報と雰囲気を知ることができます。当日は、在学生在がキャンパススタッフとして、参加者の皆様をご案内しますので、本学の生の情報を気軽に聞くことができます。また、当日同伴されました保護者の皆様には、参加生徒とは別に4年間の学生生活のイメージ、学費などについて詳しく説明をいたします。個別相談にも対応しておりますので、お気軽にお声がけください。オープンキャンパスなどに都合がつかない方には、放課後入試相談会・Web個別相談も受け付けていますので、日時などの詳細は本学HPをご覧ください。本学入試課まで電話でお尋ねください。じっくりと本学のことを聞いて、自分の目でたしかめて、本学を選んで欲しいと思っております。内外から高く評価されている本学の教育システムと、充実した学生サポート体制のもと、学修・研究、クラブ活動に打ち込んで有意義な学生生活を過ごし、納得のいく就職を勝ち取ってほしいと思います。



オープンキャンパスは 函大生の自分がイメージできる

在学生在がキャンパススタッフとして皆さんを案内していく本学のオープンキャンパス。在在生との交流の中でさまざまな話が聞けたり、実際の講義を体験できたりと、入学後の自分がイメージできるプログラムを用意しています。そこで、当日はどのような流れで本学のことを知ることができるのか、プログラムのご紹介しましょう。

【オープンキャンパス開催日時】

2021年5月15日(土)・7月31日(土)・9月25日(土)・2022年3月26日(土)
各日12:45~16:00

※当日は函館駅前・函館大学間で無料送迎バスもご利用いただけます。



お問い合わせ先 / ☎0120-00-1172
メールでのお問い合わせは
www.hakodate-u.ac.jp/contact/



函館大学生
生活ドキュメンタリー



12:45~ 概要説明

参加者の皆さんに講義に集まっていただき、本学の担当者から入試・学科・コース・宿舍・通学バス等の説明をいたします。

14:00~ ミニ講義

本学での4年間の学びをイメージできるよう、商学、英語、教職など、実際に行われている講義の短縮版を体験していただきます。

14:40~ キャンパスツアー

在在生のキャンパススタッフが本学内の各施設・設備の説明を行いながら、皆さんをご案内していきます。

15:00~ 学生交流

リラックスしながら、在在生との交流タイムを設けています。気軽になることや疑問など、何でも気軽に聞くことができます。また、保護者説明会も同時開催しています。



高い就職率を実現する 函館大学のキャリア支援

新型コロナウイルス感染拡大による経済への打撃から、就職活動への影響が懸念された2020年度でしたが、若手人口減による人手不足もあり、企業の採用意欲はここ数年と変わらず高い水準を保っていたようです。しかしその一方で、「良い人材だけを採用したい」という気運はさらに高まり、採用活動の早期化・短期化・厳選化は促進しています。

このような状況下において、本学の2020年度の就職実績は97.2%という例年以上の高い数字を達成することができました。業界・業種は多岐にわたっており、全国各地で多くの卒業生が活躍しております。

採用の厳選化傾向は今後も続くであろうと予想されます。本学ではその傾向に対応し、学生を「社会に必要とされる人材」に育てるべく、就職に向けたさまざまなキャリア支援を展開しております。

その1つが、担任・就職委員会・キャリア開発課が連携して実施している「キャリアデザインシート」です。1年次から毎年担任との個別面談を行い、常に目的をもった大学生活を送るよう助言・指導することで、学生が自らのキャリアデザインを早期から

描くことができ、就職活動がスタートする3年次には「自己PR」や「学生時代の取り組み」など、自分を語れる材料が自ずと身に付いているような、全学的な支援を行っています。

また、学生がさまざまな業界に目を向け、商学部ならではの幅広い分野で活躍できるよう、業界の第一線で活躍する社会人を講師に招いての「キャリア講演会」や、約60社の人事担当者が集まり、事業内容などについて学生が直接話を聞く「業界研究会」などを実施しています。

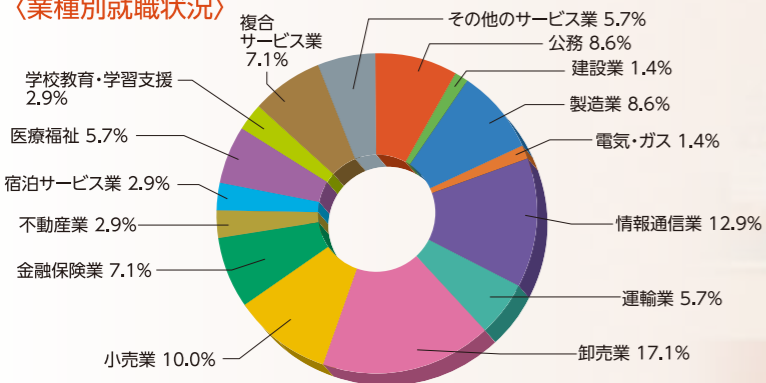
就職活動への本格的な準備が始まる3年次には、年間通して「キャリアガイダンス」を実施し、自己分析と企業研究、履歴書・エントリーシートの書き方、筆記試験対策、模擬面接やWeb面接対策など、一通りの就活ノウハウ指導を行っているほか、「キャリア開発課」には専属のスタッフが常駐し、随時就職に関する個別相談や情報提供、履歴書添削、面接練習など、小規模大学の強みを生かした親身な助言・指導を行っています。今後も、学生がより満足度の高い企業からの採用を得られるよう、教育課程内外を通じた質の高いキャリア支援を行ってきたいと思っています。

就職委員長
藤原 凜 准教授

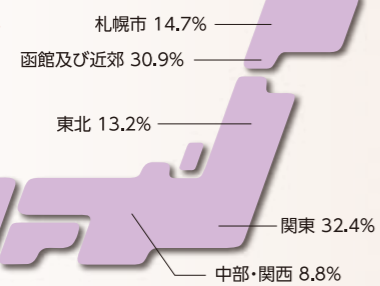
就職実績 (2021年3月卒業生)

〈進路状況〉 就職希望者 100% (就職決定率97.2%)

〈業種別就職状況〉



〈地域別就職状況〉



(令和3年5月1日現在)



夢ナビTALK「企業犯罪から見る日中韓の権力構造と国民性」

がんばる社会人一年生

夢や目標を持って、新たな一步を踏み出した先輩たち。社会人一年生として、新ステージで躍動しています。



周りへの感謝の 気持ちを大切に

青森県立三沢商業高等学校 勤務
山田 真菜 さん
商学部商学科企業経営コース卒
(青森県立八戸商業高等学校出身)

高校生の時からの夢であった教員として働き2カ月が経ちますが、まだまだ慣れないことばかりです。実際に教員となり、「こんな仕事もあったのか」と考えさせられることが多く、これまでお世話になった先生方へ感謝しなければいけないと改めて感じています。また、生徒との関わりを通してやりがいを感じることもあれば、思い悩むことも多く、それでも、ふとした瞬間に教師になれてよかったと思います。うまくいかないことのほうが多いですが、周りの方々への感謝を忘れず頑張っていきたいです。後輩の皆さんには、学生としての時間を大切に過ごしてほしいと強く感じています。暇だと嘆いていた大学時代を思い出しては、学生をうらやましく思っています(笑)。今ある時間を存分に楽しんでください!



何事にも諦めず 取り組む

トランスコスモス(株) 勤務
小玉 英輝 さん
商学部商学科企業経営コース卒
(北海道函館商業高等学校出身)

この春に入社しましたが、コロナ禍でもあり、1カ月間の新人研修はオンラインで行われました。当社は委託業務を行う会社なので、お客様に失礼のないよう行動しなくてはなりません。その基礎を身に付ける新人研修を乗り越え、今は東京のお客様の事業所内で経理業務に携わっています。私が在籍する部署は新規で立ち上がったばかり。委託先からOJT(オンザジョブトレーニング)を受けて学んでいる真っ最中です。初めて実際に行う業務は聞いたことのない言葉が多く、分からないことや気になることをメモに取り続ける日々でしたが、少しずつ業務に慣れていきました。これからもさまざまな困難が待ち受けていると思いますが、何事にも諦めず取り組む姿勢で頑張ろうと思います。

生の声を聞き 企業理解が深まる

商学部商学科
企業経営コース4年
石垣 優菜 さん
(北海道函館商業高等学校出身)



私は3年次の8月、函館商工信用組合で2日間のインターンシップに参加。インターンシップ中は、銀行と信用金庫の違いや金融機関の3大業務など、主に座学で理解を深めました。また、実際にお金の数え方や入金処理方法など、普段触れることのできない実務的な部分も体験することができ、参加して良かったと実感することができた充実の2日間でした。今はHPなどで企業のことを知ることができますが、インターンシップへの参加は、実際に生の声を聞くことによって、その企業の強みや魅力など、文面だけでは分からない部分も発見ができ、より企業理解を深めることができると感じています。また、インターンシップは仕事内容に限らず、社会人として仕事に対する思いや心掛けていることなど、業界・職種に関わらず学ぶことも多いため、少しでも気になったら思い切って参加することをお勧めします。きっと新たな発見や情報を得る良い機会になるはずです。

INTERNSHIP インターンシップ体験

私は2020年9月に野村證券株式会社、翌年1月に北海道銀行のインターンシップに参加。野村證券株式会社では証券会社の仕事内容を学び、銘柄研究を行い、お客様の状況を踏まえて株式の提案を行いました。また、北海道銀行では銀行の業務内容、企業の事業性評価を業務体験。企業に対しての融資支援の有無や課題解決のために重要な業務となるこの体験は、非常にためになりました。どちらも個人情報保護の観点から、実際のお客様への業務体験はできませんでしたが、インターンシップに参加したことで業務を正しく理解できたとともに、なんとなく志望していた金融業界への思いが明確なものになりました。インターンシップは仕事内容を体験できることに加え、働く社員の方からリアルな話が聞けるため、将来、自分自身が働くイメージ形成にもつながります。少しでも気になる業界があったならば、積極的に参加することをお勧めします。

商学部商学科
企業経営コース4年
玉澤 祐也 さん
(北海道函館中部高等学校出身)

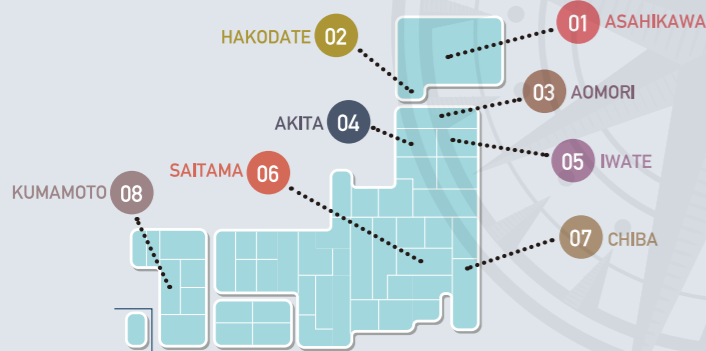


志望する業界が 明確なものとなった

出身校紹介

北から 南から

～出身校の思い出、大学での目標～



01 旭川実業高等学校

住所/北海道旭川市末広8条1丁目 創立/昭和35年 TEL/0166-51-1246

私学としての特色を活かした多彩な教育

自動車科、機械システム科、商業科、普通科の4学科を有する道内唯一の私立総合高校。普通科は医学部、国公立、難関私大の進学先で選べる3コースを用意している。

旭川実業高校には4つの科があり、私は普通科特別進学コースに所属していました。当時は具体的な夢を描いておらず、漠然と「大学に進学する」という目標を持っていただけでしたが、そんな中でも、「何をしたいのか」を見つけるために、さまざまな人とコミュニケーションを図り、つながりを大切にすることを意識しながら高校生活を過ごしていました。

そんな高校生活の中で、特に印象に残っているのが文化祭です。文化祭の出し物に関しては、特別進学コースと難関選抜コースの2つのコース全体でお化け屋敷をするという伝統があり、3学年で協力して何かを作り上げる、先輩・後輩両方の立場を経験できたことは貴重であり、良い思い出です。

また、同じく文化祭では、グループで地元・旭川について調べる機会があり、その経験を大学でのグループ課題の取り組みに活かしていきたいと思っています。これから4年間、経済や経営に関する仕事がしたいと考えて進学した函館大学で、学びを深めていきたいです。

商学部商学科1年
岡田 翔太さん



02 遺愛女子高等学校

住所/北海道函館市杉並町23-11 創立/明治15年 TEL/0138-51-0418

進路に対応したコースとカリキュラムを設定

普通科特別進学コース、普通科一般コース、英語科の3つのコースがある。三大精神「信仰・犠牲・奉仕」のもと、開校以来、一貫してキリスト教に基づく心の教育を中心に女子教育を行っている。

私は遺愛女子高校の英語科に所属し、高校卒業レベルである英検2級を「必ず取得する」という思いを強く持って勉強に励みました。2年生の時にその目標を無事達成することができたこともあり、大学でさらに英語を学びたいという意欲が増していったのです。

英語科では年に数回、函館を訪れるクルーズ船に乗った外国人観光客に、英語で道案内をするボランティアを行っていました。最初の頃は自分の話す英語が上手く伝わらず苦労しましたが、慣れるにしたがって会話ができるようになると嬉しい気持ちになり、人とのつながりの大切さも学ぶ貴重な経験となりました。函館大学へ進学を決めたのは、商学と英語のどちらも学べる所に大きな魅力を感じたからです。留学をしたいと考えていた私にとっては、充実した留学制度も決め手になりました。文化祭実行委員を任されていたおかげで、チームワークの大切さも学ぶことができた高校時代。大学ではグループワークなどの講義もあるので、その時に培った経験やノウハウを発揮していきたいと思っています。

商学部商学科
英語国際コース1年
汐谷 若菜さん



03 青森県立五戸高等学校

住所/青森県三戸郡五戸町字根岸6 創立/昭和3年 TEL/0178-62-2828

次代を担う多くの人材を育成

自然豊かな田園地帯に位置し、「自主」「自律」「協同」の校訓のもと、五戸地方唯一の普通高校としてこれまで11,000名以上の卒業生を送り出してきた。令和4年3月をもって93年の歴史に幕を下ろし閉校となる。

大学生生活も1年以上が過ぎましたが、高校時代を振り返ると、知識が増えることによって、就くことができる職種の幅が広がると考え、多くの検定の資格取得を目標に勉強に励んでいたことを思い出します。今、高校生の時に取得できなかった検定にもチャレンジしていきたいと思いつつ、大学生を送っています。勉学以外の面で、高校生活の中でもっとも印象に残っていることは「五戸まつり」に全校生徒で参加したことです。五戸高校の生徒もまちを練り歩く山車を製作し、祭りを盛り上げるために、生徒が一丸となって掛け声を出して懸命に山車を曳いたことは、大切な思い出のひとつです。

私は中学生の頃から英語を学習することが好きだったので、高校までに習うものより、さらに実用的な英語を身に付けたいと思って函館大学の英語国際コースを選びました。勉強だけでなく、ボランティアなど、五戸高校で過ごした3年間の経験を活かしながら、ここで多くの学びを通して成長していきたいです。

商学部商学科
英語国際コース2年
橘 優華さん



04 秋田県立湯沢高等学校

住所/秋田県湯沢市字新町27 創立/昭和18年 TEL/0183-73-1160

生徒と教職員が共に行う学校活動

建学のこころ「師弟共励」を保持し、「よく学びよく遊べ。」「互いの意見を尊重せよ。」「真実を尊び正しく歩め。」「報恩の誠をいたせ。」の校訓の下で、生徒の成長のためにさまざまな活動を行っている。

湯沢高校にはユーモアあふれる先生が多かったうに授業も楽しく、学業・部活ともに充実した高校生活を送ることができました。また、生徒は自主的に学ぶ人が多かったという印象があります。私は科目では英語が好きだったので、今、大学で専門的に学び、充実した日々を過ごせているのは、あの高校時代があったおかげです。楽しかった部活動ではサッカー部に所属。勉強漬けでは疲れてしまうので、部活動は心身のリフレッシュにもなりました。

楽しい思い出ばかりが頭に浮かぶ湯沢高校ですが、グループ活動を行う機会は多くはなかったように感じています。函館大学は学生同士や学生と教職員のコミュニケーションがとりやすい環境があるので、チームワークを培う経験をしていながら、積極的にグループ活動を盛り上げていきたいです。

英語はもちろん、経営や経済など、商学部ならではの商業系知識も深められるように努力して、高校生活以上の充実感に満たされる大学生活を送りたいと思っています。

商学部商学科
英語国際コース2年
伊藤 駿太さん



05 岩手県立盛岡商業高等学校

住所/岩手県盛岡市本宮2丁目35-1 創立/大正2年 TEL/019-636-1026

社会や企業が求める人材を輩出

日本資本主義の父と言われる渋沢栄一のことば「士魂商才」が校是。学科は流通ビジネス科、会計ビジネス科、情報ビジネス科の3つ。商業教育の伝統をつなぎながら、時代が求める人材を育成している。

高校では、自分がどのような進路選択をしても対応できるように、特に普通教科に力を入れて学習に取り組んでいました。そんな中、苦手になっていた教科が数学です。テスト前にはよく、担当の先生に個別で教えてもらっていました。テストで高得点をとっても、なかなか褒めてはくれませんでした。繰り返し同じことを聞いても付き合ってくれる優しい先生でした。

盛岡商業高校には、その先生だけでなく、勉強のこと以外でもサポートしてくれる先生方がたくさんいます。私は、昔から「学校」という場所があまり好きではなかったのですが、「先生とお話するだけでもいいから登校しよう」と思える教員の方々がいたことが支えとなり、救われたと感じています。

また、華道部の部長や委員会の委員長など、リーダー的な役割を任される機会が多かったこともあり、大学ではオープンキャンパスのリーダーを務めることができました。それらの経験を含め、大学生活で新たに得た気付きなどをインターンシップや就職活動に活かしていきたいと思っています。

商学部商学科
企業経営コース3年
石田 櫻さん



06 武蔵越生高等学校

住所/埼玉県入間郡越生町上野東1丁目3-10 創立/昭和27年 TEL/049-292-3245

4つの特徴あるコースで進路実現に対応

平成24年の創立60周年を機に、生徒の夢や目標を育て実現させるための本校独自の教育システム「志教育」をスタート。さまざまなプログラムを用意し、社会に求められる人材育成を目指している。

武蔵越生高校のソフトテニス部は、過去にインターハイ2位になったことのある強豪校で、私も同部に所属し、全国大会出場を目標に部活動に打ち込んでいました。仲間たちと切磋琢磨しながら練習に取り組んできた日々は、私の人生の中でとても貴重な時間であり、宝物です。その中で、周りの人に何度も助けられ、その感謝の気持ちから、これからは自分が誰かを助けられる人になりたいと思えるようになりました。周りを見て行動ができることは、社会へ出た時に求められるスキルだと思います。それまでマイペースで積極的な性格ではなかった私ですが、部を引退してから「周りを見て行動できているのがすごいね」と、周りの人から褒められることが多くなったことで、改めてスポーツの力のすごさを感じました。高校では部活動に力を入れ過ぎて、勉強との両立をあまりうまくできませんでした。将来は教員になりたいという大きな夢が叶えられるように、学業にも全力で取り組み、充実した大学生活を過ごしていきたいです。

商学部商学科1年
伊藤 快さん



07 千葉県立磯辺高等学校

住所/千葉県千葉市美浜区磯辺2丁目7-1 創立/昭和53年 TEL/043-277-2211

確かな学力、豊かな心を養い、変化する時代を生きる力を育てる

校訓は「朝考夕省」「疾風怒濤」。人生においてもっとも大切な考えること、省みること成長を促し、多様な時期に多くの困難に打ち勝つ、揺るぎない信念をつくりあげていくことを目標とする。

全国大会出場を目標に、硬式野球部で日々練習に励んでいた高校時代。その目標は叶えられず、悔しい結果となりましたが、ひとつのことに全力を注いだ日々は、自分にとって大きな財産になりました。大学ではその悔しさを忘れず、全国大会出場の目標を達成できるように頑張りたいです。磯辺高校には、唯一、携帯電話の使用が許可されていたコミュニケーション英語という授業がありました。その代わりに授業はすべてが英語でしたが、分からない単語や文章はアプリを活用して調べられたので、分からないまま終わらず、生徒全員が参加しやすい感じだったため、楽しかった思い出として心に残っています。また、先生も生徒も明るく、心の距離も近い学校でした。その雰囲気は、この函館大学とも似ています。大学では部活動はもちろん、高校の部活で主将を務めたことで養ったコミュニケーション力を活かして、グループワークなどの実習では主体的に取り組んでいきたいです。

商学部商学科1年
白井 知生さん



08 九州学院高等学校

住所/熊本県熊本市中央区大江5丁目2-1 創立/明治44年 TEL/096-364-6134

探求し、思考し、表現し、創造力豊かな人間を育成

建学の精神は「敬天愛人」。教育目標に「自分で自分を監督し、役に立つ善人となれ」を掲げてキリスト教に基づいた教育を行い、世界のフィールドで「地の塩、世の光」となる人材を育てている。

甲子園に出場し、プロ野球選手も輩出している九州学院高校硬式野球部に所属していた私は、甲子園出場を目標に仲間と汗を流していました。技術面・精神面が鍛えられただけでなく、礼儀や集団活動の中で協調性を身に付けることができました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大で甲子園大会が中止となり、目指すことさえできないという辛い、悔しい経験をしました。それでも、その辛い経験は今後の人生の糧になると信じています。部活動以外では、クラスマッチという行事がもっとも印象に残っています。さまざまなスポーツを通して、クラスメイトとの団結力や、他のクラスとの新たな交流が生まれたりなど、得るものが多々ありました。皆が笑顔で楽しみ、一体感を味わえたのは良き思い出です。大学生活でも目標を持って努力し、前進し続けていきたいと思っています。函館大学は学生同士や学生と教職員の方々との信頼関係が構築されているので、目標に向かって伸び伸びと学んでいきたいです。

商学部商学科1年
池田 宙斗さん



CLUB TOPICS 一内外に函大の元気を発信します！

KANDAI ing

さまざまな学びがあり、
自分を成長させてくれるクラブ活動
それぞれが目標に向かい、
情熱を持って打ち込んでいます

硬式野球部

BASEBALL

自信を持って試合に臨み、 神宮での全国大会出場を掴む

毎年、リーグ戦において激しい優勝争いを演じている函大硬式野球部。練習では部員同士で声を掛け合い、また、集中力を長い時間続けることは難しいため、「集中する」時間と「力を抜く」時間を作り、メリハリをつけているそうです。

チームメイトをまとめるだけではなく、試合では4番打者としてチームの大黒柱となっているキャプテンの石郷岡 亮さんは、「間違いなく、他のチームよりも先輩と後輩の仲が良いのがこのチームの魅力」と話します。それを聞いた副キャプテンの川崎 悠矢さんは、「コミュニケーションがしっかりとれているので、自分たちが気付かないことでも、後輩たちが気付いて話してくれることもあり、それはチームにとっても大きなプラスになります」と続けました。

石郷岡さんが野球を始めたのは小学3年生から。野球の魅力について、「やってみなければ分からないという楽しさがあり、さらに、第三者の目線で見なければ気付けないこともある、とにかく面白いスポーツです」と答えます。そして川崎さんは、「複雑なゲーム展開や流れを読むのが醍醐味」と、楽しそうに話してくれました。

そんなふたりが練習中に意識していることは、試合のための練習でなければ意味がないということ。「監督やコーチからも言われていますが、練習の中でできていないことが、試合の時にできるはずがありません。ですから、常に“考える”ということを大切にしています」と声を揃えるふたり。自

主性を持ち、意志の疎通をしっかりと図りながら、チーム一丸となって勝利するための準備を行っています。

キャプテン、副キャプテンの目から見て、現在のチームは全国大会出場を確実に達成できる力があると手応えを感じているそう。今年春のリーグ戦で優勝を果たせなかった悔しさをバネに、自分たちにとっては大学野球最後となる秋のリーグ戦へ向けて、今日も仲間たちとともにグラウンドで汗を流します。



石郷岡 亮さん
商学部商学科企業経営コース4年
(秋田県立秋田中央高等学校出身)

川崎 悠矢さん
商学部商学科市場創造コース4年
(千葉県立検見川高等学校出身)



「今年は若いチームなので、自分たちがリードしながら後輩のサポートしていきたい」と話す石郷岡さん。



函館大学硬式野球部HP <https://kandai-bbc.jimdofree.com>



原 颯哉さん
商学部商学科1年
(北海道科学大学高等学校出身)

松尾 海音さん
商学部商学科1年
(北海道科学大学高等学校出身)



函館大学軟式庭球部HP
<https://kandai-nantei.jimdofree.com>

CLUB TOPICS

KANDAI ing

軟式庭球部 SOFT TENNIS

自分たちが成長することが チーム全体の成長につながる

今年の春に入部した原 颯哉さんと松尾海音さんが、「明るい雰囲気の中で楽しく、伸び伸びとテニスができる環境」と印象を語る函大軟式庭球部は、今年度の春の北海道大会では団体戦2位の成績を収め、秋の大会での優勝を目指して部員一同が練習に励んでいます。小学1年生からソフトテニスを始めた原さんは、「ペアで連携をとり、協力しながらポイントをとることがこの競技の魅力」と話します。一方、3歳からソフトテニスにふれ、大会で勝ち始めてから楽しいと感じるようになったという松尾さんも、「ペアのコンビネーションの如何が試合の勝ち負けを左右するところが面白い」と感じています。



「同じ出身高校の先輩がいることも心強いです」と話す原さん。

そんなふたりは中学までペアを組み、高校ではペアを組む機会はほとんどなかったものの、互いに切磋琢磨しながら一緒にソフトテニスに打ち込んできたそうです。お互いの印象を聞いてみると、原さんは次のように答えました。「始めたのが彼のほうが早かったこともあり、追い付き、追い越せが目標になっていたため、自分を成長させてくれた存在です。そして優しく明るく、とてもいい人」とベタ褒め。それを聞いた松尾さんは照れながらも、「彼はとても明るい性格でチームのムードメーカー。試合では『ここぞ』という場面で、しっかりと決めてくれる頼もしい存在です」と、褒め言葉を返していました。

春の大会を振り返り、「試合ではペアを組ませていただいた先輩にフォローしてもらい、自分は足を引っ張ってしまったと反省が残りました。チームのためにも自分ももっと成長し、また、親身に指導してくれる監督にも恩返しができるように頑張りたい」と原さん。高校までとの違いを感じた松尾さんは、「大学では強い、上手いだけでは勝てません。勝利するためには、“戦略”が大きなウェイトを占めることに気付かされました」とのこと。本人たちの大学での部活動は始まったばかり。この経験をこれからにつなげていきます。



「楽しくテニスをしたいなら、函大はとても良い環境です」と話す松尾さん。

さまざまな学びがあり、
自分を成長させてくれるクラブ活動
それぞれが目標に向かい、
情熱を持って打ち込んでいます

書道同好会 CALLIGRAPHY

みんなで和気あいあい、 個性を発揮して 自己表現しよう



自分たちの作品をバックに。左から順に濱津 美紀子さん、部長の濱津 真紀子さん、副部長の小川 紗也加さん(商学部商学科市場創造コース4年・青森県立黒石高等学校出身)。

2018年に発足し、今年で活動4年目を迎えた書道同好会。「私にとって、書道は個性を出せる大事な場」と、書道への思いを語る部長の濱津 真紀子さんが、大学でもクラブとして活動を続けていきたいと思い、仲間を集めて立ち上げたそうです。

濱津部長の背中を押したのは、副部長の小川 紗也加さんです。「部長から書道をやりたいという話を聞き、『クラブを作ってしまう』と言ったんです。言い出しっぺみたいになった立場上、一緒に活動することになりました」と笑います。そしてこの春、部長の妹の濱津 美紀子さんが入部。本人いわく、「姉に誘われたわけではありませんが、高校では書道部に所属していたこともあり、何となく流れで」と苦笑い。

小川さん、濱津(妹)さんによると、同好会は和気あいあい、ほのぼのとした雰囲気なのだそう。活動日は基本、毎週金曜日。「とにかく楽しく書道をする」気持ちを大切にして、濱津部長が指導し、書の手本とすべき古人の筆跡をまとめた本『法帖(ほうじょう)』を見ながら書く、手習い方法の『臨書(りんしょ)』を行っています。

書道の魅力について、「紙と筆を通して自己表現する“芸術”だと思っています。同じものをつくることができない“瞬間の芸術”であるところ」と、穏やかながらも熱い気持ちを語る濱津部長。さらに小川さんは、「習字よりも自由なイメージがあり、自分が書きたい、伝えたいことを、思うままに表現できる場所がいい」と教えてくれました。

2019年にはサブカルチャーのイベント「函フェス」で書道パフォーマンスを行うなど、函大書道同好会を広くアピールしましたが、昨年と今年はコロナ禍のため、そのような場を作れなかったとのこと。それでも、「もう一度パフォーマンスを行う場や、作品を発表する場を作れたらうれしい」と、明るく前を向く部員たち。思いのままに自己を表現する書をこれからも追い求めていきます。



濱津 真紀子さん
商学部商学科市場創造コース4年
(市立函館高等学校出身)

濱津 美紀子さん
商学部商学科1年
(市立函館高等学校出身)



函フェスで書道パフォーマンスを披露する部員たち。



突撃! 函館大学書道同好会

<https://www.cc-hakodate.jp/aph/7271>



実践型学習を経て、理論的な研究へ

専門ゼミナール紹介

本学ではフィールドワークを中心とした実践的な授業である「商学実習」を1・2年次の必修科目にしています。そして、その商学実習で培った学びをより論理的に研究し、卒業論文の完成へとつなげていくための重要なカリキュラムとなっているのが、3・4年次の必修科目となる「専門ゼミナール」です。本学では個性あふれる教員たちの専門ゼミナールで、学生たちがさまざまな研究に励んでいます。今回は若松裕之教授、高橋伸二教授のおふたりの専門ゼミナールをご紹介します。

商学実習から専門ゼミナールへの流れ

1年次
商学実習Ⅰ

商学の対象・方法を理解していく

2年次
商学実習Ⅱ

企業・市場・地域の課題を体験的に分析していく

3年次
専門ゼミナールⅠ

商学の理論を学修していく

4年次
専門ゼミナールⅡ

実践的研究による卒業論文の作成

専門ゼミナールⅠ・Ⅱ(会計学)

持続可能性が説明できる
将来の会計の姿を考察する

担当教員／若松 裕之 教授



若松 裕之 教授

英語でAccountingと呼ばれる会計は、近年では説明することが主たる使命と考えられるようになってきています。そこでは、企業の経営成績を説明することはもちろんですが、環境への影響・社会に対する配慮・組織管理の徹底などが求められ、

広い意味での持続可能性を説明していくことが求められているのです。このゼミでは、そのような要請に応えようとするこれまでの取り組みを学び、将来の会計の姿を考察することを目指しています。

いわゆるコロナウイルスによる社会経済活動の変動は、多くの人々に経済に対する見方・考え方の変更を迫るものとなっています。ある日突然、大きな変動に出会うことを経験した結果、伝統的な財務諸表による倒産分析などとは異なる視点から、企業の持続可能性が問われることとなっているのです。現在、そうした非財務的な視点を含む企業の説明を行う報告書として、多くの企業で統合報告書が公開されています。そこでは、



持続可能性に対するリスクの評価とそれに対する対策が記載されています。具体的には、温暖化ガスの排出状況や原材料を供給する海外農産地での人権への配慮、社外取締役による不適切な経営へのコミットメントなどです。

こうした統合報告書は、まだ公表が始まったばかりであり、社会がそれをどのように受け取り、分析・活用していくかはこれからの課題といえます。また、その記載内容が、充分なものであるかどうか検討していかねばなりません。こうした研究により、企業により適切な説明が行われるようになっていくことは、経済社会の健全な発展に欠かせないものといえるでしょう。

学生諸君には、こうした研究を通して、大きな変革の時代にあっても発展を続けられる経済・社会の姿を考える姿勢を身に付けていただきたいと思います。



専門ゼミナールⅡ(国際マーケティング)

現在進行形の企業活動や現象を深く理解する

担当教員／高橋 伸二 教授

高橋ゼミには現在、4年生が11名おります。3年次では国際マーケティングのゼミということで、国際ビジネスを視野に含めて経営学やマーケティングのフレームワークや理論を意識しながら、輪読やディスカッション等を進めてきました。11名中7名が英語国際コース所属の学生です。私自身が実務家教員であり、永年にわたって国際ビジネスに携わってきたので、その経験も踏まえて進めています。ゼミ生たちには、今現在行われている企業活動や現象を深く理解してもらおうと考えています。今年に入ってから卒論のテーマ選定に入り、各自、興味を持てるテーマとその目的意識をしっかりと持ってもらうために、毎回、2~3人ずつ発表してゼミ生同士で活発に



討論している様子です。テーマは国際分野に限りませんが、できるだけ英語の文献にもチャレンジするよう勧められています。テーマ選定と目的意識に関しては、そもそも〇〇とは何か?から始めていきます。例えばホテルに関する研究では、ホテルとはそもそもなにを顧客に提供しているのか。ホテルと言っても機能とサービス内容で分類すると、ビジネス客主体のビジネスホテルと観光客主体のリゾートホテルに分けられます。コロナの影響でインバウンドの取り込みができず苦戦しているリゾートホテルのマーケティングは今後どうあるべきか等々、切り口はたくさんあります。このようにより深く、そして複眼的に物事をとらえてほしいと願っています。

コロナ禍の中で、学外でのアンケートやインタビューは難しいですが、可能な限り何らかの実データを基にして、各々が独自のフレームワークを通して学業の集大成ともいえるべき卒業論文を仕上げたいと願っています。そして私のゼミを通して、満足のいく研究を進めて、それにより深い洞察力と論理的思考を身に付けてくれれば幸いです。



高橋 伸二 教授

質疑応答を行っています。テーマは国際分野に限りませんが、できるだけ英語の文献にもチャレンジするよう勧められています。テーマ選定と目的意識に関しては、そもそも〇〇とは何か?から始めていきます。例えばホテルに関する研究では、ホテルとはそもそもなにを顧客に提供しているのか。ホテルと言っても機能とサービス内容で分類すると、ビジネス客主体のビジネスホテルと観光客主体のリゾートホテルに分けられます。コロナの影響でインバウンドの取り込みができず苦戦しているリゾートホテルのマーケティングは今後どうあるべきか等々、切り口はたくさんあります。このようにより深く、そして複眼的に物事をとらえてほしいと願っています。

新任教員紹介

東川 和将 専任講師

学生たちの知的好奇心を刺激したい

生まれも育ちも大阪の東川先生は、大学・大学院で「企業の情報開示戦略」について研究し、指導教員だった方と本学の教員とのつながりが縁となって、今年4月から函館大学の教壇に立っています。「今年度前期の講義は『経営史』、後期は加えて『経営戦略論』、『国際経営論』を教える予定です」とのこと。さらに、『商学実習Ⅰ・Ⅱ』、3年次の『専門ゼミ』も担当しています。

自身は大学3年生頃から勉強漬けの日々を送っていたそうですが、「それまでは勉強が嫌い、勉強をせずにまともな大人になれる方法を考えていました(笑)」と、驚きの告白も。変化のきっかけは、分からなかったことを分かるようにしていくことに楽しみを持ったからなのとか。講義では分かりやすく、柔らかい言葉を選びながらも、論理的に教えることを意識しているそうで、「人間は誰も知的好奇心を持っていると思います。学生の中に眠る、その知的好奇心を刺激できる教え方をしていきたいです」と、目を輝かせます。教員活動1年目となる今年は、先生にとってもチャレンジの日々。「私も函館大学の1年生ですから、学生と一緒に学んで成長し、学生に寄り添った教員活動をしていきたいと思っています」。本学には関西出身の教員が数名おり、「関西弁を聞くと安心します」と、笑顔を見せる東川先生は、楽しみながら全力で教育と研究に取り組んでいきます。



大学を飛び出して 函館・道南・北東北と ともに成長する



地域連携センター長
安木 新一郎 准教授

PBL(Project-Based Learning)とは、学んだことを現実の課題解決につなげられる能力の育成を目的とした教育手法です。「商学実習」(通年科目)では、10名程度の学生が1チームとなり、函館を中心とした道南および北東北地域の抱える課題について、文献調査だけでなくフィールドワークやインタビュー・アンケート調査などを通じて情報を集め、その解決に向けた報告・発表を行います。

「専門ゼミナール」(3・4年次)では学生自身が決めた研究課題について、通常の講義や「商学実習」等で培ったものを生かし、卒業論文を執筆する等の過程を通じて社会人としての能力を身に付けます。そのほか課外学習としては、台湾、シンガポール、フィリピンなどでの調査・交流を現地大学・機関とともに実施しています。

また、地域社会との交流や教育の還元を図るため、さまざまな公開講座を行っています。教養講座として、今年度前期は障がい者スポーツや英語学習法をテーマに開講します。通年の公開講座として、「簿記原理I・II」(全30回)を提供しています。

さらに、函館新聞で毎月第1金曜日に「函館大学講座」を連載しています。1月から6月までのテーマは「経営」でした。7月から12月のテーマは「食と人の多様性」です。

PBLの課題例

- 台湾への食の輸出拡大に向けた調査研究(台湾・長栄大学との共同調査)
- 北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録に関する意識調査
- 函館に住む高等教育機関の学生の幸福度調査(函館市企画部との連携調査)

公開講座

- 通年科目「簿記原理I・II」(全30回)
- 前期公開講座(各1回・2時間)

第1回 5月29日(土)

「障がい者スポーツのレンズで見たユニバーサル社会とは」
～みる・する・ささえる、から地域を考えてみる場合はどうするか～

第2回 6月19日(土)

「iPadやWebツールを活用した英語学習法」
*公開講座の詳細および参加申し込み方法等につきましては、ホームページをご覧ください。

函館新聞紙上公開講座

- 毎月第1金曜日に函館新聞の紙面で掲載しています。

7～12月はシリーズ「食と人の多様性」

令和2年度 学校法人野又学園 決算書

(単位:千円)

資金収入の部		資金支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	1,157,411	人件費支出	1,522,373
手数料収入	22,352	教育研究経費支出	540,833
寄付金収入	10,291	管理経費支出	146,801
補助金収入	905,847	借入金等利息支出	198
国庫補助金収入	301,531	借入金等返済支出	9,264
地方公共団体補助金収入	521,532	施設関係支出	61,826
施設型給付費収入	77,487	設備関係支出	24,649
その他の補助金収入	5,297	資産運用支出	162,718
資産売却収入	8,070	その他の支出	269,955
付随事業・収益事業収入	107,271	(予備費)	
受取利息・配当金収入	46,273	資金支出調整勘定	△166,217
雑収入	138,897	翌年度繰越支払資金	464,691
借入金等収入	0		
前受金収入	181,659		
その他の収入	335,258		
資金収入調整勘定	△335,561		
前年度繰越支払資金	459,323		
資金収入の部合計	3,037,091	資金支出の部合計	3,037,091

事業活動収支計算書		科目		金額	
教育活動の活動部	収入の部	学生生徒等納付金	1,157,411	手数料	22,352
		寄付金	9,829	寄付金	10,291
		経常費等補助金	905,847	国庫補助金	301,531
		地方公共団体補助金	521,532	施設型給付費	77,487
		その他の補助金	5,297	その他の補助金	5,297
		付随事業収入	86,271	雑収入	138,813
		雑収入	138,813	教育活動収入計	2,320,523
		教育活動収入計	2,320,523	人件費	1,486,271
		支出の部		教育研究経費	786,975
		管理経費	240,282	徴収不能額等	1,799
徴収不能額等	1,799	教育活動支出計	2,515,327		
教育活動収支差額	△194,804				
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	46,273	その他の教育活動外収入	21,000
		その他の教育活動外収入	21,000	教育活動外収入計	67,273
		借入金等利息	198	借入金等収入	198
		その他の教育活動外支出	0	その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	198	教育活動外収支差額	67,075		
経常収支差額	△127,729				
特別収支	収入の部	資産売却差額	7,570	その他の特別収入	1,292
		その他の特別収入	1,292	特別収入計	8,862
		特別収入計	8,862	資産処分差額	21
		資産処分差額	21	その他の特別支出	493
特別支出計	514	特別収支差額	8,348		
予備費					
基本金組入前当年度収支差額	△119,381				
基本金組入額合計	△326,027				
当年度収支差額	△445,408				
前年度繰越収支差額	△2,465,903				
基本金取崩額	240,433				
翌年度繰越収支差額	△2,670,878				
(参考)					
事業活動収入計	2,396,658				
事業活動支出計	2,516,039				

貸借対照表		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	14,391,574	固定負債	400,706
有形固定資産	9,670,890	流動負債	523,752
特定資産	3,698,460	負債の部合計	924,458
その他の固定資産	1,022,224	純資産の部	
流動資産	617,961	科目	金額
		基本金	16,755,955
		繰越収支差額	△2,670,878
		純資産の部合計	14,085,077
資産の部合計	15,009,535	負債及び純資産の部合計	15,009,535

(令和3年3月31日現在)

授業アラカルト

『マクロ経済学』

安木 新一郎 准教授

函館大学で行われているさまざまな講義。
経済理論のひとつである「マクロ経済学」は、
どのような知識が必要とされ、
どのような目を養う学問であるのか、
ご紹介していきます。



社会をみる能力を養う 経済理論を学ぶことで、

商学部ではおもに経営学、会計学、経営情報論などを学びますが、こうした社会科学の基礎に当たるものが経済理論です。経済理論はミクロ経済学とマクロ経済学に分けられます。ミクロ経済学は個人や企業などの個々の経済主体の行動や世界を支配する法則について考える学問です。一般的にミクロ経済学は、経済主体は市場メカニズムの働きによって自動的に望ましい行動をすると説く理論体系です。

これに対して、マクロ経済学は利子率、国民の所得水準、インフレ率、失業率、財政赤字、為替相場の変動など、「集計的変数」の動きを解明しようとする学問です。

もし、個人や企業などがマクロな数集まった体系が、単純にミクロな経済主体の行動を支配する法則にしたがうのであれば、マクロ経済学という別の学問は必要ないことになります。

しかしながら、More is different(量が多ければ質的に違う)、これはアンダーソンという物理学者のことはですが、経済学にも当てはまるのです。

気体、液体、固体など、マクロな数の分子が集まった体系を支配する法則は、熱力学ではその第1法則、第2法則として、統計力学では等確率の原理として確立されていますが、これらの諸法則は原子・分子のミクロな世界の法則(量子力学と力の法則)からは演繹的には導き出せない、独立したものです。

マクロ経済学の生みの親といつていいケインズという経済学者は、ミクロ経済学が前提とする市場メカニ

ズムによる需要・供給の調整は十分ではなく、それゆえ市場メカニズムに任せてしまうと失業や倒産の大量発生などといった社会不安が発生する可能性があると考えました。そこで、財政・金融などのマクロ経済政策が必要だと説きました。今日、ケインズの考え方が全面的に肯定されているわけではありませんが、一方で、市場の自動調節機能を絶対視する人も少数派です。

物理学の法則と同じく、経済理論もまた数学で記述されます。特に、微分

積分や確率統計の知識が不可欠となります。マクロ経済学の講義では数式を解いたり、グラフを描いたりしながら、経済法則について学ぶことになります。そのため、高校までの数学や物理が経済学を理解するための基礎となります。

ミクロ・マクロ経済学は公務員試験や教員試験の受験科目になっていますが、単に就職に直結するから学ぶことを勧めるわけではありません。経済理論を学ぶことで、経済や社会をみる目を養ってほしいと思います。

